



まくべこ

わたしたちのまち

(昭和59年8月1日現在)

人口	21,600	(-3)
男	10,639	(-10)
女	10,961	(+7)
世帯数	6,524	(-2)

—人のうごき(7月中)—

転入	66人	転出	87人
出生	25人	死亡	7人

||||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||



新前の寮母さん

特別養護老人ホーム札内寮(角田政美施設長)には、90人のかたが入所しています。「やりがいのある仕事です」と、お年寄りのお世話をする樋栄智美さん(21歳=写真左)、市原妙子さん(20歳=中央)、山口聡子さん(22歳=右)の1年生寮母さんです。

若い世代に伝えてください

おじいちゃん、おばあちゃんの
知恵と経験

家族や地域社会のために役に立つことができると思いますか——全国の六十歳以上の人にこう尋ねたところ、六割の人が「どちらかといえはそう思う」と答えています。年をとってもまだまだやれる——この気持ちを家庭や地域社会で生かしていくには、お年寄りばかりでなくお年寄りを囲む家族や近隣の人々の努力も必要です。
九月十五日は「敬老の日」。この日を機会にお年寄りの社会参加について考えてみましょう。

☆ ☆

落語の世界の八っさん熊さんは、困りごとがあると横丁のご隠居の所へ相談に行きます。相談を受けたご隠居さんは、「お前さんがた、そんなことも知らないのかい」という具合で迷惑がっていますが、その実とてもうれしそうです。「それはだね……」ご隠居は、半ば誇らし気に、少しもつたいぶつて話を始めます。このように、お年寄りは「知恵袋」とか「生き字引き」と呼ばれて大切にされていたものです。



時は移り現代、マスコミの発達などでお年寄りの「生き字引き」的な価値は薄れてしまったかもしれません。しかし、お年寄りが家庭や社会にとって、大切な存在であることには変わりありません。お年寄りには経験に裏打ちされた思慮深さや冷静に物事を見極める目があります。こうしたお年寄りならではの持ち味や特徴を、家庭や地域社会で、もつと役立たせてほしいものです。
老人には三種の役割があると言います。一つは、職業上の役割や家庭での親として

の役割などのように、年をとるとだんだん小さくなっていく役割です。二つめは、投票の義務とか社会のことに関心を持ち続けることなどのように、年をとっても変ることのない役割です。三つめが、年を取って

から新しく生まれてくる役割です。人生経験を生かした各種の相談活動などは、この三番目の役割といえるでしょう。第三の役割が社会が必要としているお年寄りならではの役割なのです。
ところで、お年寄りのいるご家庭で注意していただきたいのは、「もう年なんだから」とか、「そんなことをさせては申しわけない」などと行って、お年寄りの行動に制約を加えてしまうことです。これではお年寄りのかたも、「もう、隠居だから」「出しゃばりだと思われる」などと言って引込み思案になってしまいます。

また、お年寄りが、自分の知識や技術を「たいしたことではない」と思っている、周りの人から見れば価値のあることかもしれせん。家庭や社会で役割を見つけ、伸び伸びと行動できるようにしてあげてください。

まくべつ長寿者番付 (S59.8.25現在)

東			番付	西		
 長屋志やう (宝町・95歳)			横網	 堀川 保 (依田・94歳)		
岡田 義一	札内春日町	93	大関	山口 ち系	古 舞	93
小林 貞子	依 田	93	関脇	時田 たつ	依 田	92
二川 ヤイ	幸 町	92	小結	松原 はる	依 田	92
磯部 ふみ	千 住	92	前頭	長谷川志げを	依 田	92
古酒 イシ	新 町	91	2	石森ちとし	札内春日町	91
只野 正美	札内春日町	91	3	木村 ミヨ	依 田	90
晒谷 ちよ	札内豊町	90	4	国枝 孝吉	中 里	90
高橋 サキ	緑 町	90	5	園部 ケイ	緑 町	90
戸澤 春吉	依 田	90	6	新谷 春	依 田	90
斉藤 操	札内あかはや町	90	7	村田 辰雄	五 位	90
脇坂 イト	依 田	90	8	山田 アヤ	札内豊町	90
寺山 みよ	糠 内	89	9	久保英太郎	古 舞	89
小島仲次郎	依 田	89	10	高垣 累二	駒 畠	89

(敬称略、同年齢は生年月日による)

米寿のおめでとう

今年、米寿(数え年88歳)を迎えられた明治30年生まれのかたは次の17人です。これからも健康に留意され、ますますお元気でいてください。
(50音順に掲載)

栗野 スエさん (五位)



生まれ、四十一歳の時に糠内へ入地。六年前から帯広の病院で療養生活を送っているが、自宅にいた時は野菜づくりをしていた。

特にいまは、核家族と呼ばれる、おじいちゃんやおばあちゃんのない家庭が多くなっています。育児のコツ、漬物のつくり方などお年寄りになってみれば当たり前のこととも、若い世代には、知られていないことが意外に多いものです。
息子夫婦や娘夫婦と会うのは年に一、二回というお年寄りもいらつしやるでしょう。若い世代との交流の場を持つてもらおう意味でも、地域社会での活動を通じ、お年寄りの持つ「知恵と経験」を若い世代に伝えてもらいましょう。

今本 トシさん (依田)



青森県で生まれ、小さいころ、後志管内島牧村へ入地。漁師の嫁に入り、その後樺太にも渡ったことがある。四年前からは、札内特養で療養生活を送っている。

大西 倉治さん (依田)



香川県で生まれ、十六歳の時に、兄と旭川へ入地。食堂を三十年あまり経営していた。四年前に札内特養に入り、今は目が不自由で寝たきりの生活。

岡田 くわさん (緑町)



岐阜県で生まれ、八歳の時に音更へ入地。昭和四十二年に幕別に来る。手芸が得意で、毎日のように作っている。老人福祉センターへ行くのが楽しみ。

欠田 スエノさん (幸町)



秋田県で生まれ、十五歳の時に後志管内岩内町へ入地。数年前までは三味線を弾いていたし、若いころ裁縫学校に行っていたので、縫い物は今でもしている。

亀山 金市さん (札内中央町)



浦幌町で生まれ、昭和四年に札内入り、三十年もの間、精米工場を経営していた。札内神社総代や民生委員を務めたことがある。テレビを見るのが好き。

木藤 五市さん (軍岡)



相川で生まれ、以来八十七年間、幕別に住んでいる。永年農家をしていたが、五十五歳からは農協に勤めた。庭の手入れをしたり、孫と遊んだりしている。

楠木 タカノさん (古舞)



帯広の晩成社で生まれ、四十六歳の時、途別に入り、七十歳まで畑仕事をしてきた。十五年前に倒れてからは、寝たきり起きたりの生活を送っている。

久保 鎮三郎さん (本町)



新潟県で生まれ、二十歳の時に石狩に入る。大正十二年に古舞に来て農業を営む。現在は娘と暮らし、花いじりや遊びかたがた行商をしたりしている。

坂本 栄一さん (新川)



山梨県で生まれ、二歳の時に池田に入り、農家をした。池田では議員を務めたこともある。三十歳の時に新川に移り、農家を続けたが、最近はやめた。毎日の寝たきりの毎日。

佐藤 慶造さん (途別)



新潟県で生まれ、昭和五年に釧路へ入地。その後、水田ができるということ、四十五歳の時に途別に来る。趣味は、わら細工で、毎日のように作っている。

佐藤 留五郎さん (依田)



福島県で生まれ、九歳の時に豊頃へ入地。十五歳の時に、親と一緒に依田へ入植。今でも野菜畑の手伝いや花畑の手入れをする。ひ孫と遊ぶのが楽しみ。

高垣 つぎさん (駒島)



岐阜県で生まれ、十九歳で結婚。二十二歳の時に北見へ入地。二年後、駒島へ来る。夫・累一さんとは、今年で結婚六十八年を迎えた。孫の子守が楽しみ。

高橋 直義さん (宝町)



秋田県で生まれ、二十五歳の時に旭川へ来る。検事局に勤めたのち、昭和二十年に幕別へ来て以来、現在も行政書士をしている。町民生委員も務めたことがある。

谷 勢一郎さん (札内北栄町)



札内島で生まれ、六十歳まで漁業をしてきた。七十歳の時に札内に来る。テレビを見るのが楽しみで、今は奥さんと二人でのんびり暮らしている。

寺岡 ソヨさん (依田)



福島県で生まれ、十八歳の時に結婚して、すぐ軍岡へ入地。以来、八十五歳まで畑仕事をしてきた。三年前に札内特養に入り、今はのんびり暮らしている。

渡辺 音吉さん (明野)



宮城県で生まれ、三歳の時に大樹へ入地。幕別に来てから新田ベニヤへ勤め、三十二年間働く。五十三歳から二十二年間、現在地で精米所を経営した。

サマーカーニバル'84

楽しかった真夏のひととき

約600人の町民が涼を満喫

真夏のひとときをエンジョイしようと、七月二十八日、二十九日の両日、サマーカーニバル84が運動公園と猿別川一帯で、約六百人の町民が参加して行われました。

催しはまず、午後六時から大流しソーメンで開幕。木材とビニールで作った長さ百十メートルの水路に、千人分のソーメンを流すという試みで、特に子供たちは、このビックな企画に大喜びをしていました。続いて、高さ十メートルもあるジャンボ・キャンプ・ファイヤーの点火が行われ、たちまち夜空を焦がす勢いで燃え上がり、参加者からは驚嘆の声が漏れていました。初日はこの外、野外映画館、ロックバンド演奏会など、バラエティーに富んだ催しが繰り広げられました。翌二十九日には、猿別川イカダ下りが行われ、三十隻のイカダやカヌーが参加しました。この日は日中の気温が三十度を超え、参加者たちは水の涼を求め、のんびりと川の旅を楽しんでいました。

なんと百十メートルもの 大流しソーメン！ 1日目

ジャンボ

長さ百十メートル・千人分の大流しソーメンは世界一？とどんどん流れてくるので、参加者は大忙し



満腹 子供たちはビックな企画に大はしゃぎ。何回もおかわりを催促する子が続出

完成前



完成後



夜空燃焼

昨年よりも大きくなったジャンボ・キャンプ・ファイヤー。点火すると、たちまち天まで届くような勢いで燃え上がり、見ていた人たちは、炎のものすごさに感激



ロック

地元青年バンドも登場し、熱いビートを披露



行列

キャンプ・ファイヤーに点火するタイムツ行列には林町長も参加。点火後、導火線の火が消えるハブニングが



三十隻のイカダがのんびり川の旅

2日目

出航

手製のイカダが岸から離れ、すがすがしさのあまり、見物客に笑顔振りまく乗組員。果たしてどんな困難があったのだろうか

まつりを終えて

実行委員長

大上 雄司さん (32)



今回のサマーカーニバル'84を開催するに当たり、商工青年部を主体に各青年部有志の協力、各団体のご支援によって盛会のうちに終えることができました。

前夜祭での壮大な流しソーメン、ジャンボキャンプファイヤー、たいまつ行列、映画、花火、ロックバンド、テント村など多彩な催しに、参加された町民の皆さん方も

きつと楽しんでいただけたと思います。愛とロマンを求めたイカダ下りも、参加チームの色とりどりでユニークなイカダが、川を下って行くそう快きは今でも目に浮かびます。大きなイベントは初めてだったので、手違いもありました。今後、さらに町民が楽しめる夏の行事として発展するようお祈り申し上げます。



転覆

大半のイカダはひっくり返ったが、そのうちの一そう。船体が傾いたとたん、全身は川の中へ

大喜び

ふだん体験することのできない、スリル満点のイカダ下りに子供たちは大はしゃぎ。中には泳ぎ出す子もいたりして、親たちはもう大変。イカダが浅瀬につかえた時も子供たちは知らぬ顔





鈴木まゆみさん
(幕別高校2年)

アメリカ留学記 ①

幕別高校から初めて鈴木まゆみさん(二年)中里が太平洋文化教育協会の留学生として昨年八月から今年七月までの約一年間、アメリカ・ダンビルハイスクールに留学していました。体験記を寄せていただきますので二回にわたり紹介いたします。

留学ということは話に聞いたことがあったが、まさか私が留学しようとは……。

一枚の新聞、一つの広告が私にその機会を与えてくれたのです。私が高校一年に入ったある日、父は一つの新聞広告を見つけた。「留学生求む」私は子供のころから英語が得意分野の一つで、一度外

国に行ってみたいと思っていました。父は私にその新聞を見せて言いました。「案内書を取ってみたらどうだ」、その時は別に留学する意志はありませんでしたが、自分の能力を試してみようかという軽い気持ちで「そうだね」と返事をしました。

案内書が届いたので読んで見ると、第一次、第二次とテストがあり、後はアメリカ政府が受け入れてくれるかどうかでした。受かっても受からなくてもいいと考えていた私の所へ、第一次テスト合格、第二次テストも合格、そしてアメリカ政府も受け入れるというように、話はトントン拍子に進んでいきました。留学するにはこの紙にサインすればいいだけというところまで来た時、父は留学に賛成、だけど母は反対。母の反対理由は私へ

の心配と百万円以上のお金が掛かることでした。私は、母に一生懸命に頼みなんとか了解を得ました。八月十八日、とうとう出発の日が来ました。絶対に泣かないと決めていましたが、母の涙を見てやっぱり泣いてしまいました。東京に着いて一泊し、外の留学

の心配と百万円以上のお金が掛かることでした。私は、母に一生懸命に頼みなんとか了解を得ました。



ホストファミリーのジョンソンさんの家

スをしてきました。その人が、私の「ホストマザー」だとすぐに分ったものの、度肝を抜かれた気分でした。それから車で一時間余り、私が住むことになった「ダンビル」の町に着きました。家に着いた私をリラクセスさせようと、ホストマザーがアイステイーとメロンを持ってきてくれました。私はあまりのショックに顔がひきつりました。どうしてかと言いますと、私はメロンが大嫌いなのです。悲しいかな、私は日本人の習性で「ノー」と言えず無理やり食べました。それからホストファミリーはいつも私にメロンを出すようになりました。そのときほど日本人の優柔不断を思い知らされたことはありません。日本人とアメリカ人の最大の相違点は物ごとをはっきり言わないで以心伝心に頼るのと、物ごとをはっきり裏表なく言う点です。これも一例ですが、私は冷たい牛乳を飲むとおなかを壊します。アメリカでの朝食は、コーンフ레이크に牛乳をかけたのとトーストだけでした。私は牛乳がだめだと言えなかったために、体重を五キも減らしました。

で友達はずぐにできました。私が取った科目は保健、体育、美術、家庭(二時間)、英語、アメリカ史、タ イプ、自習、昼食の九科目でした。最初はさっぱり分らなかつた授業も三カ月ぐらいうると、だんだん理解できるようになりました。(次号へつづく)



カウンセラーの家へ集まった留学生とその家族



町長と歓談する父・道雄さん(右)とまゆみさん

母の反対理由は私への心配と百万円以上のお金が掛かることでした。私は、母に一生懸命に頼みなんとか了解を得ました。八月十八日、とうとう出発の日が来ました。絶対に泣かないと決めていましたが、母の涙を見てやっぱり泣いてしまいました。東京に着いて一泊し、外の留学

生百二十人とともに日本をたちました。約一日飛行機に乗り、目指す「コロンバス空港」に着いたときには、もうすでに夜の十一時になっていました。飛行機から降りて、キョロキョロしていた私をだれかが引つ張り寄せ、「ウエルカム、マユミ」と言っ、女の人が私のほほにキ

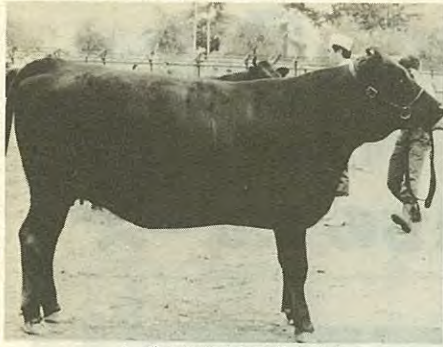
八月の下旬から学校(ダンビルハイスクール)が始まりましたが、それ以前にバレーボールをしに学校へ行っていました。



三部門でグランドチャンピオン

十勝畜産共進会

第十七回十勝総合畜産共進会(十勝農協連主催)が、七月二十五、二十六日(肉用牛・馬・豚の部門)八月二、三日(乳用牛・乾牧草の部門)にわたり、帯広市の十勝農協連常設家畜共進会場で行われました。十勝管内から乳用牛五百頭、肉用牛六十頭、馬百二十頭が出場して、自慢の肉体美を競いました。審査



しずの3号(肉用牛の部)



スカイ号(乳用牛の部)



出夢18世の8号(馬の部)

10月14日設立総会

「東京幕別会」結成へ

「東京でふるさと幕別の思い出を語ろう」と、町では東京近郊在住の町出身者や、仕事の関係などで幕別町に住んだことのある人を募り「東京幕別会」の結成準備を進めていましたが、五月十六日東京都内で発起人会を開き、会則、名簿の

整備、総会の時期、今後の活動方法などについて協議しました。これにより、紹介された百三十三人の該当者へ入会案内文を発送し、入会の意思確認を行いました。多数の入会希望者がありました。設立総会は、十月十四日(日)に開催されますが、役員を選出、会則承認のほか今後の会の運営などが話し合われます。

「東京幕別会」設立総会案内

■日時 十月十四日午前十一時
■場所 番町共済会館東京都千代田区二番町二番地
☎ 265-9251

設立発起人

- 代表 野本 弘(新田ベニヤ)
- 発起人 小沢康二
- 新井出博親
- 高橋俊郎(蚕糸砂糖類協格安定事業団)
- 森 俊子(品川区芳水小学校)
- 上田欣也(朝日火災海上渋谷営業所)
- 米森喜代松(帝国繊維)
- 森田義夫(衆議院法制局)
- 荒井邦男

早津さんが全国連合会長表彰

人権擁護に尽力

永い間、人権擁護委員として、困っている方々の心の支えとなってきた功績により、早津健次郎さん(錦町)が全国人権擁護委員連合会長から表彰を受けました。

健康

相談

質問

と、健康を害しやすと言われますが、どうしてでしょうか。(あかしや町・Mさん)

お答え

健康体の血液は、一定の比率で含まれており、新陳代謝の働きをします。日々消耗する成分は食物から補給しますが、その成分は酸性とアルカリ性に分かれます。

健康人では、血液がややアルカリ性に傾き、病気の人や不健康な人は酸性が強くなっています。裏返して言えば、血液が酸性に傾くという訳で、従って、酸性の肉食類を好む人は、肩が凝る、血圧が高くなる、疲労しやすい、めまいがするなど体の故障が多くなっています。

しかし、血液の酸とアルカリの比率は一定不変ではなく、一日に取る食物の質や量によって影響されますし、精神状態などにも左右されて、絶えず変動しています。血液中の酸性成分が

多くなるのをアチドーシス(酸中毒または酸濁化)といい、健康上よりよい状態ではありません。酸とアルカリの二成分は、どちらも欠くことのできない重要な成分ですが、その比率が調和よく保たれ平均しているということが、健康のために必要な条件で、偏して比率が崩れると人体は不健康な状態、病的症状に陥るのです。しかし、多少アルカリ性成分の多い状態のほうが良く、造血作用を促進し、赤血球、白血球、リンパ球、血小板なども増えます。また、体内の血液量を調節する臓器の働きも活発になり、総じて健康を増進させる結果になります。

ところで、弱アルカリ性の血液を保つためには、特にカルシウムが重要な役割を果たしていると言われています。骨や歯はカルシウムでつくられていて、人体にある総量の九八％はここに含まれ、残りの二％は血液やリンパ液、組織液および軟組織細胞に含まれています。骨や歯のカルシウムは、妊娠その他の大きな生理上の変動がない限り、その量はあまり増減しません。血液の中のカルシウム量は、日常のわずかな健康上の変化にすぐ影響されます。特に、血液中カルシウムのうちの変動しやすい状態にある血清カルシウムイオンは、生命力の強いコイ、フナ、うなぎ、どじょうなどに多く含まれています。



まちの ニュース



▶きれいになりました糠内川
糠内市街公区(栗野一二三公区長)では、糠内川の堤防などの草刈りを実施しました。早朝から蚊やあぶと戦いながら、二時間余り気持ちよい汗を流しました。



▶サケの薫製で補助金第一号
小野田美智子さん(主婦、札内西町)は、

サケの薫製の研究活動で、このほど町の特産品開発補助金制度適用第一号になりました。



▶老いも若さも踊る心はひとつ盛夏の一夜を楽しんだ仮装盆踊り
仮装盆踊り大会が八月十五日(幕別地区)、十六日(札内地区)に行われ幕別地区では、団体が役場交友会(写真上)、個人は横山守さんが優勝。札内地区は、特養老人ホーム(写真下)、個人は桜井敏子さんが優勝しました。



▲快い空気を吸って「歩け歩け運動」

南町第1歩こう会(高橋辰夫会長)では、7月から毎朝、歩け歩け運動を続けており、これまでに約67kmに達しました。

幕別風土記 十四

締吉が、駅ていを官設で経営していた。馬で次の駅ていまでお客さんを送り届ける仕事で、そのほかは旅館と同じですよ。



祖父・締吉は香川県で万延元年に生まれ、明治二十六年に二十四戸の移住監督として北海道へ来ています。明治三十二年に入植者と別れ、南勢に移りました。その当時は、願書を出しさえすれば、土地をいくらでももらえたようです。そのかわり成耕検査を受けるのは大変だったそうですよ。土地は三百町歩もあり、ほんとうは畑にしないとだめなものだが、ほとんどを牧場にして牛や馬を飼っていたね。

締吉は官設の駅ていを明治三十四年七月に設立した。その駅ていは、締吉が適任者ということで取扱人になったんですね。宿泊者は博労さんが多かった。それは、大樹での馬市が有名であった、止若(幕別)を通して帯広、

大正七年前にバターを作り始めたんです。そのバターは「自然発酵バター」で、主に神戸の乳製品を売っている大きな店へ送りました。止若の人は、正月が近くなったら、贈物やおみやげにするから売ってくれと来ていました。バターの名前は「鈴蘭バター」と言ってるね。私が鈴蘭がいいんじゃないかと言ったら、締吉は「ああ、それもいいなあ」ということで決まりました。バター作りは、私が二十歳の時までやっていました。

昭和十一年の時に、天皇陛下が札幌へ、陸軍特別大演習をご統裁のために来られました。その時に私は、ご料乳牛管理人に選ばれたんです。陛下がご滞在中に牛乳をお飲みになったり、料理に使う上納牛乳の牛を管理したわけですよ。この時、俺が生きてる間は牛と離れんと決めました。

締吉は、駅ていを官設で経営していた。馬で次の駅ていまでお客さんを送り届ける仕事で、そのほかは旅館と同じですよ。

★ みんなの 声



入浴サービス（特養老人ホーム）

気軽に相談や話し相手になってもらえる制度は……

六十八歳でひとり暮らしをしてい

る男性です。最近腰を痛めて収入も少なく、老後の生活に不安を感じています。気軽に相談や話し相手にな

◆お答えします

か。 ってもらえる制度がないでしょうか。

◆心配ごと相談

すべてのお年寄りが対象です。役場の福祉係、社協相談員が老後の生活に関して各種相談と指導・助言を行います。

◆老人福祉電話相談

低所得者で、まだ電話をつけていないひとり暮らしのお年寄りに福祉電話をお貸しし、毎日の安否の確認と相談を近隣の協力員がお受けします。

◆老人給食サービス

市街地域に居住する六十五歳以上のひとり暮らしのお年寄りを対象として週一回、特別養護老人ホーム札内寮の協力で給

食を自宅までお届けいたします。

◆老人家庭奉仕員の派遣

身体的または精神的に障害があつて、日常生活に支障のあるおむね六十五歳以上のお年寄りの家庭に、家庭奉仕員が訪問し、身のお世話をお願いします。内容は食事、衣類の洗濯、掃除、生活必需品の買い物などのほか、生活上の相談や助言をいたします。

寝たきりで入浴に

苦勞しています

私の家には、七十三歳で寝たきりの父がおりますが、家庭での入浴に苦勞しています。何か良い方法はありませんか。

◆お答えします

寝たきりのお年寄りのいる家庭のために

◆入浴サービス

特別養護老人ホーム札内寮を利用して月一回無料で入浴できます。自宅で入浴困難なお年寄りが対象です。

◆短期保護

介護している家族が特別な理由で一時的に留守する場合、十四日間を限度に特別養護老人ホーム札内寮でお世話します。痴呆症状をもつお年寄りにも適用されます。

老人クラブへ入会したい

幕別町へ転入してきたが、老人

が無料で利用できる施設と老人クラブの入会方法を教えてください。

◆お答えします

楽しい生活を送るために

◆老人クラブの入会

町内には、十九の老人クラブがあり約千二百人のお年寄りが相互の交流を深めながら、会員の健康と教養の向上を図っています。おむね六十五歳以上の方ならどなたでも入会できます。最寄りの老人クラブへどうぞ。町では、老人クラブの健全な発展を図るため、老人クラブの会員数に応じた運営費の助成をしています。また、年一回福祉バスの無料貸出しも行って

◆老人無料入浴券

六十五歳以上のお年寄りに、幕別温泉ホテル入浴招待券をお贈りしています。

◆老人福祉センター

温泉、ゲートボール場、ヘルストロンなどを備えたお年寄りが楽しめる総合的な施設です。六つの地区に分け、月二回ずつセンターまで老人福祉バスを運行しています。どしどしご利用を。

老人福祉の諸制度については、民生課福祉係 ☎54-2111 (内線110) へお問い合わせください。

新町民登場



もりわかひとみ 森若日登美さん (24歳) 札内西町21

札幌生まれの札幌育ちで、高校を卒業してからは、日本長期信用銀行に勤めていました。幕別には、札幌で知り合った夫と、結婚のため四月に来ました。

札幌は大都市ですが、大通公園や円山公園、真駒内公園など大きな公園があり、市民の憩いの場になっています。趣味は手芸が得意で、スポーツは水泳やスキーもします。

暇があつたら泳ぎたいですね。幕別は札幌と比べ、ずっと広々していますし、空気が澄み切っています。それに魚介類がおいしい所です。今は自分の会社で事務を手伝っています。時々、現場に行くこともあるんですよ。

札幌は近所づき合いがあまりない所でしたが、幕別は公区の集まりなどが多いので、近所づき合いを大切にしながら、早く町に慣れたいです。

神殿に納まった 馬頭さん

第53回
草別まつり

路傍の神——
開拓と信仰 ⑱
西 和

札内神社より南へ一キロほど行くと、晩成社ゆかりの徳源地があり、その道を登り丘を越えた所に広尾線の踏切りがある。その手前に祠があり、そこには馬頭観音像が納められていた。

この辺りは、幕別町字依田の西部で、丘の上から西側を西和と呼称されている。昔、丘の上は牧場であったと言われるが、現在は、明治三十年から四十年にかけて入植した、岐阜県出身の三代目、四代目の人たちが、この地で営農している。

馬頭観音像を納めた祠は、入植当時の人々の手によって大正十三年に建立された。農耕馬の安全と、開拓途上で命を落とした馬霊への慰めということで、毎年四月十七



日と七月十七日の二回、部落総出で祭りを行ってきた。祭りの日は、各家庭で早起きして作ったごちそうを持ち寄った。その折、子馬が無事に生まれた家庭からは、お神酒が出される習慣もあった。子供たちにとっては、学校からふっ飛んで帰ってくるほどの楽しみであったし、大人たちにとっては、生活のための懇親の集いの日でもあった。

昭和四十九年、札内神社が現在地へ移転した折、西和神社が札内神社へ合祠されたため、不要となった神殿に馬頭観音像を納め、場所を八線から現在地へ移設したのである。農耕馬が姿を消した現在でも、農作業の事故防止や交通安全を願い、七月十七日に祭りを引き続き行っている。

「馬と生活を共にしていた当時を思い起こせば、なんとと言っても馬が難産のときや、病気になったり死んだときは、どうしてもひと事と思わずにはいられなかった」とのことであった。馬が死んだときは、百人講という行事を行い、みんなでお金を出し、助け合ったのであった。

かつて、白い馬が駆けていたであろう丘を越えながらの帰り道、囀らずも「南無観世音大菩薩」と口に唱える筆者でした。

取材協力 山口 正一さん
田辺タミ子さん
参考資料 西和開拓史



自衛官を募集

二等陸・海・空士

●採用予定月の一日現在、十八歳以上二十五歳未満の日本国籍を有する男子です。

試験内容等

- 試験期日および、試験場は受付時にお知らせします。試験科目として、筆記試験、口述試験、身体検査および適性検査があります。
- 試験合格者には、おおむね一カ月後に通知します。

待遇

- 採用の日をもって、特別職国家公務員になります。
- 給与は、初任給が月額九万八千円で、九カ月から十二カ月たてば一等陸・海・空士に昇任し、月額十万六千八百円、その他各種手当があります。
- 衣類等は無料支給または、貸与で、食事・宿泊費は無料です。
- 中卒者は定時制高校へ、高卒者は大学二部または、通信教育の道が開かれています。



なお、志願に当たって説明、相談等を希望されるかたは、役場企画財政課・☎54-2111または左記の自衛官募集相談員へご連絡ください。

自衛官募集相談員

氏名	住所	電話番号
須田 昶	錦 町	54-2517
新田彰生	軍 岡	54-2437
村田正義	五 位	57-2425
前田 武	札内中央町	56-2770
林 利臣	札内泉町	56-4845

明野ヶ丘公園で芝桜の植栽

9月29日(土) 午後1時から

●たくさんのかたの参加とご協力をお願いいたします

明野ヶ丘公園
芝桜一株運動推進委員会

「ご寄付ありがとうございます」

- 町へ……
▽糠内老友会から糠内コミュニティセンターへ鏡を一枚
- 町社会福祉協議会へ……
▽谷内政夫さん(明倫)から五万円
▽村上スミさん(依田)から三万円
- 老人クラブへ……
▽谷内政夫さん(明倫)から明倫老人クラブへ二万円
▽谷地田ウメヨさん(軍岡)から軍岡老人クラブへ三万円
▽幕別老人クラブへ五万円
▽前田武さん(札内中央町)から札内寿会へ二万円
▽岡田改さん(相川)から相川北一心会へ二万円
▽鎌田功さん(相川)から相川北一心会へ一万円